

ザ市と姉妹都市を解消

吉村大阪市長「慰安婦」像市有化で

米サンフランシスコ市 派幹事長会議で、同市とのエドウィン・リー市長の姉妹都市関係を12月中に解消する意向であることも表明した。像の碑文には「慰安婦」像の寄贈を受けたことを承認し、10月に土地に設置し、10月に土地に寄贈されました。サンフランシスコ市議会各

吉村氏は「不確かな一方的な主張をあたかも歴史的な事実であるかのよう」に碑文に刻むことは日本、大阪に対する「バッシング」と主張。リー市長に再考を促す書簡を送るなどしてきましたが、同市長は11月22日に決議を承認。これを受けて吉村氏は12月中旬に姉妹都市関係の解消に向けた手続きを12月中旬にも完了する考えを明らかにしてしま

1993年の当時の河野内閣官房長官の談話でも、「今次調査の結果、長期にわたって広範な地域にわたって慰安所が設置されたことが認められた」とされているところであり、吉村市長の言い分には道理がない。

吉村氏の表明を受け、日本共産党大阪市長議員団の山中智子幹事長は次の談話を発表しました。

関係解消は撤回し 両市の友好発展を

日本共産党大阪市長議員団 山中幹事長が談話



一、吉村洋文大阪市長は、サンフランシスコ市が「従軍慰安婦像」を設置したことをもって、大阪市とサンフランシスコ市との信頼関係が損な

一、吉村市長は、自らの思い込みや独断によって、きわめて大きなマイナスの影響が発生することに鑑みて、姉妹都市解消を撤回し、今後とも両都市の友好・親善・交流の諸事業を発展させるべきである。

姉妹都市解消の撤回を

市民有志らが要請

吉村洋文大阪市長が米サンフランシスコ市の姉妹都市関係の解消を表明した問題で、「姉妹都市解消に抗議する市民有志の会」が5日、大阪市役所を訪れ、吉村市長宛てに撤回を求める要請書を届けました。

「市民有志の会」は、インターネットでの呼び掛けで集まった市民が結

「大阪市が初めて姉妹都市関係を結んだ都市」でもあり、「大阪市民が60年間に渡って地道に積み上げてきた交流関係は、市議会や市民に諮ることもなく、市長の一存で断ち切つてよいものでない」と述べています。

さらに関係の解消は市民や企業間の交流、日米関係にも悪影響を及ぼすと指摘。直ちに撤回し、「大阪市長が大阪市民の代表として、先人たちの築き上げてきた財産を正しく継承し」両市交流の「リーダーシップ」をとるよう求めています。

要請行動には中央区在住の國本依伸さんら5人が参加しました。

維新以外の各党派には、撤回を働き掛ける要請を行い、日本共産党は山中智子幹事長が応対。有志の会メンバーは、「自分が市長だから決めたもしいというのは大変問題」と話し、山中議員は「政治的な違いを理由に姉妹都市を解消することは考えられない。撤回し、関係を発展させるべき」と述べました。



姉妹都市解消問題で撤回を求める市民有志と懇談する山中議員＝5日、大阪市役所